

# ひまわり新聞

## 『ひまわり甲子園 2013』

佐藤雄平 福島県知事 メッセージ

「ひまわり甲子園 2013」が開催されますこと、心よりお喜び申し上げます。また、開催にご尽力いただいた関係の皆様へ深く敬意を表します。ひまわりを通じてつながった福島と全国の絆がこのイベントでさらに深まり、今年の夏、たくさんのひまわりが県内各地に咲き誇り、大輪の笑顔の花があふれる福島になることを切に願っております。

◆日時 3月9日ひまわりバスツアー（全国の里親様限定）

3月10日ひまわり甲子園、ひまわり交流会

◆場所 ポリテクセンター福島（福島市三河北町）

◆内容 ・全国の里親様から福島県へ『きずなの種贈呈式』

・全国の里親様&福島県内の取り組み発表会

福島ひまわり里親プロジェクトに参加している全国各地、福島県内の団体の代表が福島に集結。交流を深め、福島と全国との絆を体験する2日間の感動イベントです。2日目には、各団体の活動状況と福島への想いを発表していただきます。

応援メッセージ

メルマガ登録



空メール送信で登録!

NPO 法人 チームふくしま  
 福島ひまわり里親プロジェクト  
 TEL.024-529-5153  
 HP:http://www.sunflower-fukushima.com/

## NPO 法人チームふくしまメンバー紹介

会長

鈴木 厚志  
 夢成株式会社 代表取締役社長

監事

堀内 孝勇  
 株式会社アディカ 代表取締役

理事

藤島 康広  
 株式会社アグリックス 取締役

理事

吉成 洋拍  
 Cafe Dining agato マスター

理事

折笠 哲也  
 会津太陽光発電株式会社 代表取締役

理事

島 正樹  
 かむろみの郷 六原温泉 吉川屋  
 執行役員常務 7代目 若旦那

理事

本名 創  
 株式会社旬菓工房 常務取締役 工房長

理事

小嶋 道範  
 有限会社こじま 代表取締役

顧問

香取 貴信  
 有限会社 香取感動マネジメント 代表取締役

理事長

半田 真仁  
 採用と教育研究所 代表

## これまでのあゆみ

2011

- 3月11日 東日本大震災発生
- 6月 プロジェクト発足・種販売開始  
全国46都道府県（福島県をのぞく）で里親様誕生
- 7月 フランス国営放送、シリア、アラブ等海外メディアより注目、取材相次ぐ
- 8月 プロジェクトへの参加者が全国10万人を突破  
福島ひまわり里親プロジェクト主催フォトコンテストを開催
- 9月 農林水産省よりひまわりの除染効果について発表
- 10月 全国からひまわりの種とメッセージが届き始める
- 11月 双葉高校文化祭プロジェクトを実行
- 12月 プロジェクトへの応援メッセージ 2万人達成  
芽ッセージ展開催 福島県伊達市役所、銀行、行政機関、JR、私鉄構内等

2012

- 2月 福島交通のご協力により、ひまわり復興列車 世界初運行  
福島県農村青年会議プロジェクト発表部門 優秀賞受賞
- 3月 喜多川泰作詞の森源太作曲・歌の応援ソング「Restart~再出発~」完成
- 3月11日 震災から丸一年  
長野県の高橋生など復興ツアーで来県をスタートに種を通じた観光が増加  
福島県鯖江市立立待小学校よりひまわりの歌のCDが届く
- 4月 福島県内に里親様のきずなの種を寄贈スタート  
2012年度分きずなの種販売開始
- 6月 福島県立博物館（会津若松市）初：芽ッセージ展開催
- 8月 福島市わらじまつりにてひまわり展示（福島市）  
福島県内9,000か所で里親様のひまわり開花  
中合百貨店福島店にて芽ッセージ展開催（福島市）
- 10月 福島県旅館ホテル生活衛生同業組合青年部「ひまわり大作戦」が第21回全旅連青年部全国大会褒章アワード 特別功労賞 絆 受賞
- 12月 広島県向原高校の取り組みがボランティア・スピリット賞受賞

2013

- 1月 ひまわり絵本クラウドファンディング挑戦成功。絵本出版決定
- 2月 KIBOW福島優秀賞受賞  
GIサミットに理事3名が参加・発表（北塩原村）  
きずなの種を通じた福島市立第四中学校 & 三重県中部中学の3度目の交流
- 3月9日 きずなの種を通じた向原高校 & 勿来工業高校の2度目の交流  
双葉地区仮設住宅にて全国の里親様と高校生が種まき
- 3月10日 ひまわり甲子園 2013 開催  
種つき絵本発売開始  
応援歌「ひまわり」がCHESSより贈られる
- 3月11日 震災から丸二年  
日本初・きずなの種つき絵本発売開始



# プレゼンター

## < 全国 >



**【静岡県商工会青年部連合会（静岡県）】**  
日本で唯一、静岡県内全商工会38支部で取り組みを行い、保育園など地域を巻き込んで県内中にひまわりを咲かせました。2012年には復興ツアーでいわき市を訪れ、好間町商工会の皆さんと保育所で種まきをしました。映像の作成、フォトコンテストの開催などひまわりを通じて多彩な活動を展開されています。



**【広島県立向原高等学校（広島県）】**  
第16回ボランティア・スピリット賞 中国・四国ブロック コミュニティ賞  
商工会、幼稚園、小学校と連携しひまわりを栽培。地域と一体となった活動が評価され、世界的な賞であるボランティア・スピリット賞を受賞。授賞式では、広島県立勿来工業高校フラガール部勿工フラガール「マウロア・ラウレア」と一緒にフラダンスを踊り、交流をしました。



**【福島ひまわり里親プロジェクトを応援する会（広島県）】**  
2012年4月に広島、岡山でのチームふくしまの講演会を開催。さらに、広島県尾道市で開花した約1,000本のひまわりの中でパーベキュー大会も開催しました。渋谷代表は、職場の緩和ケア病棟でも病院全体でプロジェクトに取り組みました。



**【のぞみ鍼灸整骨院（京都府）】**  
整骨院の伊勢田院、大久保分院でひまわりを育ててくれました。2011年からの取り組みは、利用者の皆さんからたくさんの応援をいただき、患者さんから借りた庭でもひまわりを咲かせるなど、スタッフのみなさんと患者さんとの交流も深まりました。



**【竹馬会（大分県）】**  
「みんなで作ろう住みよいムラを！」を合言葉に地域づくり活動が続ける中でひまわりを栽培。今年は老人クラブ、子ども会をはじめとする約80名の方と6,000粒の種を蒔き、ひまわりを育てました。

## < 福島県 >



**【福島県旅館ホテル生活衛生同業組合青年部・匠のこころ吉川屋（福島県）】**  
第21回全旅連青年部全国大会褒章アワード 特別功労賞 絆 受賞  
福島県内の旅館と全国をひまわりで繋ぎ、紡ぎました。その取り組みが、「第21回全旅連青年部全国大会褒章アワード 特別功労賞 絆」を受賞しました。発表者の吉川屋7代目 島若旦那は東日本大震災をきっかけに、NPO 法人チームふくしまに加入。マスコットキャラクター「ひまボポ」のデザインを手掛けるなど観光地から感動地への変革を目的に活動しています。今年1月に結婚したてホヤホヤの世界一幸せな若旦那。



**【大越町・岩瀬農業高等学校（福島県）】**  
約1,500戸でひまわりを育てました。お盆には、毎年恒例のひまわりフェスティバルを開き、2万本のひまわりの中で行う盆踊り大会などで、家族と地域の交流が生まれました。また、牧野ひまわり会の佐久間代表が勤務する岩瀬農業高校でもひまわりが育てられ、地域の人たちと生徒との交流を生み出した。



**【福島民報社 スマイルふくしまプロジェクト（福島県）】**  
東北3県の新聞社と福島民報社が合同で行った県内でひまわりを咲かせるプロジェクト。県内5ヶ所にひまわりやサルビアなどの花で巨大なフラワーアートを作りました。郡山市の布引高原では、ひまわりで直径50メートルのスマイルマークが登場、県内外から訪れる人々に笑顔を届けました。



**【ホテルリステル猪苗代 リステル猪苗代ハーブ園（福島県）】**  
ひまわり迷路と、大きなひまわり畑が登場。子どもの背丈よりも大きなひまわりで作られた迷路は、沖縄出身の歌手CHESS（8歳）くんとプロジェクトを結んだきっかけになりました。

**【福島市立福島第四中学校 & 三重県松坂市立中部中学校（福島県・三重県）】**  
両中学校の生徒はひまわりの栽培を通して、お互いに交流を深めてきました。ひまわり甲子園では、中部中学校の先生が交流の様子を発表します。



## < 交流会 >



**【IMO JAPAN 代表 佐藤 博章（福島県）】**  
福島県農村青年会議  
プロジェクト発表部門 優秀賞受賞



## スペシャルサンクス



### 【おかん】

ロックバンド。2013年春に大阪城ホール公演が決定。「家族で聴いてもらえる唄でありたい。人と人を繋ぐバンドでありたい。」という想いからライブハウスからショッピングモール、起業家の方々の講演会場まで様々な場所での演奏を続けている。



### 【山木屋太鼓】

昨年の東日本大震災により、私たちの住む山木屋地区は計画的避難区域になり、現在は故郷を離れ生活しています。故郷山木屋の歴史を紐解き、祖先が培ってきた自然との共生をこれからも幸いで行こうと「郷の陣」が完成しました。沢山の応援で繋いで頂いた山木屋太鼓。今日は感謝を込めてこの2曲を演奏します。



### 【CHESS】

沖縄県出身の8歳の少年。3月10日に福島ひまわり里親プロジェクトのテーマソング「ひまわり」でCDデビュー。CHESSくんの「福島のために歌いたい」という想いを受け、作られた曲。



### 【チーム息吹】

福島県南会津地域の子もたちで結成されているチーム。福島県内外で公演活動を行い、子どもたちの心のごもった演技が多くの観客の胸をうつ。舞台の公演活動を通して、地域の歴史を学び、郷土の誇りを語り継ぐ次世代育成プロジェクト。